令和6年度 学校評価アンケート集計結果

*評価項目の重点課題(★印)については、別資料(学校評価 重点課題 結果)に評価、取組状 況、改善策・新たな課題等を提示しました。

		教職員	<u>保護者</u>					
			小学部	中学部	高等部	院内	全体	
回答率	配付数	53	13	7	10	11	41	
	回答数	53	11	6	9	4	30	
	回収率	100%	85%	86%	90%	36%	73%	

評	価基準	A:十分達成できた C:あまり達成できなかった(多少課題がある) E:わからない		むね達成 できなか		善が必要で	· ある)				
1 学習活動の充実											
		評価項目 (★は今年度の重点課題)	評			: 回答実数		: %)			
1 本校は、 ^素 いる。		教育目標や教育方針を分かりやすく保護者に伝えて	教職員	A 17 32. 1%		0 0.0%	0 0.0%				
			保護者	19 63. 3% 25	10 33. 3% 28	3. 3%	0. 0%	0. 0%			
2		本人および保護者のニーズを取り入れて個別の指導 :成している。	教職員 保護者	47. 2% 24	52. 8% 5	0. 0%	0.0%	0			
3	★本校の教員は、児童生徒一人一人に対して実態把握に基づ			80. 0% 28 52. 8%	25	3. 3% 0 0. 0%	0. 0% 0 0. 0%	0.0%			
3		:目標設定を行うとともに、教材や指導法を工夫し、 :すい授業を行っている。	保護者	24 80. 0%	5 16. 7%	0. 0%	0.0%	1 3. 3%			
4		教員は、児童生徒の意欲喚起につながるよう、授業 実践することで学習の定着を図っている。	教職員	25 47. 2% 26	28 52. 8% 3	0. 0% 0. 0	0. 0% 0. 0%				
			保護者 教職員	86. 7% 24	10. 0% 29	0. 0%	0. 0%	3. 3%			
5		教員は、児童生徒の年齢や発達段階に応じて将来を 指導を行っている。	保護者	45. 3% 24 80. 0%	6	0. 0% 0 0. 0%	0. 0% 0 0. 0%	0.0%			
2	安心・安	全		00. 070		0. 070	0. 070	0. 070			
1		施設・設備の点検を定期的に実施し、学習環境を整	教職員	31 58. 5%	1.0	0. 0%	0. 0%				
	理・整頓することで事故の予防に努めている。		保護者	19 63. 3% 26	33. 3% 27	0. 0%	0. 0% 0. 0	3. 3%			
2		、児童生徒が心身ともに安定した学校生活を送るた 人一人の人権を尊重し、よりよい人間関係づくりに ・る。	教職員 保護者	49. 1% 23 76. 7%	50. 9% 4	0. 0% 1 3. 3%	0. 0% 0 0. 0%	6. 7%			
2	★本校では、訓練(火災、地震、土砂災害、不審者対応等)	教職員	30	13. 3% 22 41. 5%	3. 3% 1 1. 9%	0.0%	0. 7%				
ە 	などを整	、防災対策や、緊急時の保護者・病院との連絡体制 備している。	保護者	23 76. 7%	6	0 0. 0%	0 0. 0%	1 3. 3%			
4	ち、児童	員のみ)本校の教員は、安全に対する意識を高くも 生生徒の実態に応じた災害・防犯・事故等への対応の 識・技能の習得に努めている。	教職員	26 49. 1%	27 50. 9%	0 0. 0%	0 0. 0%				
3	家庭・地	域との連携		0.41	001						
1	を提供し	□校の教員は、児童生徒や保護者が必要としている進路情報 □提供したり、市の福祉課や福祉施設などと連携したりして		24 45. 3% 15	29 54. 7% 9	0. 0% 0. 0	0. 0%	6			
		に当たっている。 は、PTAの行事(総会、役員会、交流会、バ	保護者 教職員	50. 0% 34	19	0. 0%	0. 0%	20. 0%			
2	ザー)が	デー)が参加しやすく設定され、保護者と教員が協力して取 組んでいる。		64. 2% 23 76. 7%	35. 8% 6 20. 0%	0. 0% 0 0. 0%	0. 0% 0 0. 0%	3. 3%			
3	*###		教職員	70. 7% 26 49. 1%	26 49. 1%	1. 9%	0.0%	0.0%			
		発信されている。	保護者	17 56. 7% 28	9 30. 0% 25	0. 0%	0 0. 0%	4 13. 3%			
4	ア:足特	、地域の学校や地域の人材(学校支援ボランティ 応援サポーター等)との交流活動を行い、地域との	教職員 保護者	52. 8% 19		0. 0% 0	0. 0% 0	3			
1		実を図っている。 (教験号の74字体)	休丧有	63. 3%	26. 7%	0. 0%	0. 0%	10.0%			
4		(教職員のみ実施) ∴、校務支援システム、Teams等のグループウェアや分				Т					
1	掌部会を	活用し、各部の業務についての共通理解を図り、協務に取り組むための体制が作られている。	教職員	31 58. 5%	22 41. 5%	0. 0%	0. 0%				
2		は、学校課題研究の実践を通し、校内全体で内容を がら、各自の指導に生かしている。	教職員	27 50. 9%	26 49. 1%	0 0. 0%	0 0. 0%				
3	★本校の に努めて	教員は、積極的に研究・研修に取り組み、資質向上 いる。	教職員	25 47. 2%	28 52. 8%	0 0. 0%	0 0. 0%				